

## 別紙

### 全国高校生徒会大会とは

#### 1. 全国高校生徒会大会とは

本大会は、日本全国の生徒会役員有志 20 名によって組織される実行委員会が主催しています。

当日は、生徒会活動に関する意見交換・討論を行います。

「自身の学校をより楽しい場所にしたい」と生徒会活動を行う高校生たちが、志を同じくする仲間たちと出会い、交流をし、意見を交わすことで、新しいアイデアを創り、モチベーションの維持・向上などの意識面や実際の活動のノウハウを共有することで技能的な面でも成長できます。

また、本大会は 2 泊 3 日で開催されますので、意見交換・討論などのプログラム以外でも主体性や協同性などが育まれます。

#### 2. 第 8 回全国高校生徒会大会実行委員会の思い

「自身の学校をより楽しい場所にしたい。」生徒会活動に励む高校生たちに共通する思いです。ただ、この思いだけでは実現し得ないことが数多くあります。ブラック校則を変えるべく生徒会に入ったものの具体的にどう動いていけばいいのか分からない、マンネリ化した学校行事にみんなが楽しいと思えるような新たな企画を取り入れたい、などの様々な壁にぶつかります。そんな悩みを解決するために、まず必要なのは情報です。他の学校ではどのような取り組みをしているのか、どのように解決したのか、どのような悩みを持っているのか。これらを知り、各々の学校と比較することで問題解決の糸口が見えてくるのではないのでしょうか。

第 8 回大会では「今を見つめる～あなたが“これから”を創る～」をテーマとしています。参加者のみなさんにとって「自己を見つめ、他者と共有し、考えを深め、これからを見通すことのできる。」そんな大会を目指します。

また、参加者のみなさんが、大会開催後も繋がり続け、互いに支え合える仲間と出会えることを願っています。

#### 3. 一般社団法人 生徒化活動支援協会 (SASCA) について

SASCA は、「18 歳選挙権」の導入を契機に、“新しい生徒会”を広めていくことで「子ども・若者参画社会」の実現を目指している団体です。現在は、学校外で生徒会に関する活動

を行う外務団体の活動の支援協力やウェブサイト「生徒会.jp」での各活動のイベントレポートやコラムの掲載、全国の高校生徒会の活動の実態を調査する「生徒会活動実態調査」、日々の生徒会活動の活動を評価する「日本生徒会大賞」などの事業を行っています。

今回は、ビジョンとして掲げる新しい生徒会の実現を目指して、本行事を共催いただく運びとなりました。

#### 4. 過去開催実績～

2013年に第1回大会が開催され、今年度で8回目の開催となります。

これまでの大会参加者数はのべ870名以上にのぼり、大会出身者は大学や社会においても主体的に活動を行っております。また、朝日新聞や高校生新聞、雑誌モルゲンをはじめ様々なメディアからも注目されています。

##### ～全国高校生徒会大会の歩み～

2013年1月	全国高校生徒会大会実行委員会を組織
2013年3月29日～30日	全国高校生徒会大会2013開催 73校147名の参加者
2014年4月2日～4日	第2回全国高校生徒会大会開催 71校179名の参加者
2015年3月30日～4月1日	第3回全国高校生徒会大会開催 77校180名の参加者
2016年3月30日～4月1日	第4回全国高校生徒会大会開催 70校137名の参加者
2017年3月27日～29日	第5回全国高校生徒会大会開催 56校114名の参加者
2018年3月28日～30日	第6回全国高校生徒会大会開催 72校135名の参加者

##### ～実際に高校生新聞に取り上げていただいた際の記事～

「生徒会役員らが活動の在り方について語り合う第6回全国高校生徒会大会が3月28日から30日まで東京の衆議院第一議員会館で開かれた。高校生と中高一貫校の中学生135人が議論を通じて交流を深めた。高校生22人による実行委員会が主催。「大会に参加して満足するのではなく、学校に戻って行動してこそ意味がある」と実行委員長の岩本健吾君(埼玉・開智高校2年)。こうした考えから大会では、広報や渉外、地域貢献といったテーマについて話し合ったうえで、生徒会活動全体に視野を広げ、何が必要かを班ごとに議論した。」

(高校生新聞 <http://www.koukouseishinbun.jp/articles/-/3795> より引用)